



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月5日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6763 URL <https://www.noble-j.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 満寿夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 丸山 睦雄 (TEL) 044-422-3831
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,123	△21.3	5	△98.9	70	△86.0	24	7.1
2020年3月期第2四半期	6,511	△1.6	473	△15.2	504	△34.9	22	△95.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 101百万円(△73.5%) 2020年3月期第2四半期 383百万円(26.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	2.50	2.50
2020年3月期第2四半期	2.34	2.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	24,214	21,024	85.2
2020年3月期	24,575	21,202	84.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,626百万円 2020年3月期 20,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,500	△8.0	150	△76.0	250	△66.6	200	—
								20.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	10,141,833株	2020年3月期	10,141,833株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	293,183株	2020年3月期	305,358株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	9,838,044株	2020年3月期2Q	9,828,765株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
製品別販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、第1四半期では新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により各国では外出禁止令や企業の操業停止等経済活動が抑制されましたが、第2四半期に入り、徐々に経済活動が再開し、景気を持ち直しを見せているものの、国内外で投資や消費が落ち込んでいると共に、特に欧米における新型コロナウイルス感染症が再拡大をしている事から、世界経済の先行きは不透明感が継続しております。

米国や欧州では個人消費の落ち込みから企業業績は大幅に悪化しており、アジアでは中国に於いて感染拡大が収まり経済活動も回復がみられるものの、米中貿易摩擦の影響も懸念され、極めて先行きは不透明な状況にあります。

我が国の経済も新型コロナウイルス感染症の影響から企業業績が悪化し、個人消費の落ち込みや海外経済悪化の影響を受け、内外需ともに大幅に減少しており、極めて厳しい状況となりました。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、在宅勤務拡大によりPC・タブレットなどの需要が増え、一時的に落ち込んだ自動車関連市場も上向いておりますが、産業機器市場では設備投資の落ち込みによる需要減が継続しており、全体では部品の需要が弱含みで推移し、また世界景気の減速から、全体的には低調に推移しました。

このような状況の中、当社グループは、関連事業所において生産性向上並びに事業拡大を目的に新工場の建設に着手し、2021年1月より稼働開始を計画しており、また老朽化設備の更新など設備投資を継続し、省人化、無人化など生産性向上とコストダウンを引き続き推し進めております。一方、在宅勤務、セレクトタイム勤務時間などを導入し、新型コロナウイルス感染症対策を行うことで感染防止に努めつつ、材料、素材や部品調達からお客さままでのサプライチェーンを確保すると共に、固定費の抑制に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は51億23百万円（前年同期比21.3%減）となりました。営業利益は5百万円（前年同期比98.9%減）、経常利益は70百万円（前年同期比86.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①電子部品

自動車関連は徐々に回復し、ゲーム関連向けは増加しましたが、アジア市場や中国市場向け販売が多いカメラ関連向け前面操作ブロック（ICB）や可変抵抗器・固定抵抗器は引き続き弱含みに推移し、前年同期を下回りました。

この結果、電子部品の売上高は48億88百万円（前年同期比21.5%減）となり、営業損失は5百万円（前年同期は4億43百万円の営業利益）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

a. 日本

ゲーム関連向けFPCやポジションセンサーは回復してまいりましたが、その他の市場向けが低調でした。

この結果、売上高は27億78百万円（前年同期比11.4%減）、営業損失は3百万円（前年同期は2億56百万円の営業利益）となりました。

b. アジア

カメラ市場向けICBや、エアコン・給湯器向け固定抵抗器、AV機器向け可変抵抗器の販売は、中国市場向けを中心に低調でした。

この結果、売上高は20億25百万円（前年同期比31.9%減）、営業損失は2百万円（前年同期は2億9百万円の営業利益）となりました。

c. 北米

自動車関連向けスイッチや可変抵抗器が客先の在庫調整の結果、大きく減少しました。

この結果、売上高は83百万円（前年同期比27.8%減）、営業損失は4百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

②その他

企業の設備投資の落ち込みの影響などから、売上高は2億34百万円（前年同期比17.3%減）、営業損失は1百万円（前年同期は20百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ3億60百万円減少し242億14百万円となりました。その内訳は、流動資産が7億58百万円減少し149億73百万円、固定資産が3億98百万円増加し92億41百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ1億83百万円減少し31億90百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億58百万円減少し18億37百万円、固定負債が74百万円増加し13億52百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少し210億24百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の84.5%から85.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末に比べ11億7百万円減少（前年同期は68百万円の増加）し、当第2四半期連結会計期間末に67億80百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は2億86百万円（前年同期は3億24百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益70百万円（前年同期は2億1百万円）、売上債権が1億72百万円増加（前年同期は1億28百万円増加）、仕入債務が1億81百万円減少（前年同期は81百万円減少）したことなどによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億50百万円（前年同期は89百万円の獲得）となりました。設備等有形固定資産の取得による支出4億41百万円（前年同期は2億66百万円）と保険積立金の解約による収入43百万円（前年同期は11百万円）などによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億4百万円（前年同期は3億25百万円の使用）となりました。これは配当金の支払い2億46百万円（前年同期は2億45百万円）などによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の下半期の世界経済予測は、新型コロナウイルス感染症の収束に関しては目途が立たず、世界的に第2波、第3波の懸念がぬぐえず、引き続き不透明な状況となっておりますが、自動車市場を中心に回復基調に推移すると思われれます。当社グループの属するエレクトロニクス業界では、自動車向け市場、ゲーム関連市場を中心に緩やかに回復すると予測しております。

以上の状況から、2020年8月4日に公表しました通期の連結業績予想、配当予想(期末)につきましては、予想値の変更は致しません。なお、連結業績予想（通期）の前提となる下期の為替レートは1米ドル106円としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,214,055	9,080,712
受取手形及び売掛金	2,342,902	2,561,676
電子記録債権	589,506	522,209
商品及び製品	1,151,783	1,154,317
仕掛品	562,139	577,558
原材料及び貯蔵品	589,052	578,941
その他	286,705	502,204
貸倒引当金	△3,276	△3,708
流動資産合計	15,732,870	14,973,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,526,998	1,467,612
機械装置及び運搬具(純額)	1,237,509	1,162,953
その他(純額)	1,094,242	1,305,422
有形固定資産合計	3,858,750	3,935,988
無形固定資産	70,837	61,593
投資その他の資産		
投資有価証券	1,896,774	2,280,497
退職給付に係る資産	2,465,177	2,450,554
その他	556,295	517,302
貸倒引当金	△4,848	△4,848
投資その他の資産合計	4,913,399	5,243,505
固定資産合計	8,842,987	9,241,087
資産合計	24,575,857	24,214,998
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	604,218	470,170
電子記録債務	427,224	375,290
短期借入金	49,887	44,805
未払法人税等	66,328	71,894
賞与引当金	329,018	336,874
役員賞与引当金	5,000	—
その他	614,165	538,758
流動負債合計	2,095,843	1,837,793
固定負債		
退職給付に係る負債	119,141	135,534
その他	1,158,616	1,216,998
固定負債合計	1,277,758	1,352,533
負債合計	3,373,602	3,190,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	12,019,692	11,780,762
自己株式	△745,460	△714,979
株主資本合計	20,183,623	19,975,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,734	687,297
為替換算調整勘定	△94,782	△271,446
退職給付に係る調整累計額	273,676	235,632
その他の包括利益累計額合計	580,628	651,483
新株予約権	11,637	4,550
非支配株主持分	426,366	393,461
純資産合計	21,202,255	21,024,671
負債純資産合計	24,575,857	24,214,998

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	6,511,363	5,123,107
売上原価	4,354,669	3,549,272
売上総利益	2,156,693	1,573,834
販売費及び一般管理費	1,683,301	1,568,705
営業利益	473,391	5,129
営業外収益		
受取利息	26,199	23,704
受取配当金	53,890	31,427
受取賃貸料	34,202	27,393
助成金収入	5,470	28,698
その他	21,822	22,136
営業外収益合計	141,585	133,360
営業外費用		
支払利息	2,211	1,074
固定資産賃貸費用	13,911	13,949
為替差損	62,032	48,902
その他	32,338	3,909
営業外費用合計	110,494	67,835
経常利益	504,483	70,653
特別利益		
固定資産売却益	161,036	—
特別利益合計	161,036	—
特別損失		
関係会社清算損	463,783	—
特別損失合計	463,783	—
税金等調整前四半期純利益	201,736	70,653
法人税等	151,830	44,113
四半期純利益	49,906	26,540
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,920	1,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,986	24,628

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	49,906	26,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,101	285,754
為替換算調整勘定	398,625	△172,418
退職給付に係る調整額	△68,161	△38,432
その他の包括利益合計	333,564	74,902
四半期包括利益	383,471	101,443
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	371,799	95,483
非支配株主に係る四半期包括利益	11,671	5,959

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	201,736	70,653
減価償却費	327,504	332,506
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△105,784	△39,416
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,196	16,456
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,621	8,002
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,000	△5,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△36,561	407
固定資産売却損益(△は益)	△160,123	△767
関係会社清算損益(△は益)	463,783	—
受取利息及び受取配当金	△80,089	△55,131
支払利息	2,211	1,074
売上債権の増減額(△は増加)	△128,805	△172,502
たな卸資産の増減額(△は増加)	△96,456	△31,666
仕入債務の増減額(△は減少)	△81,099	△181,935
未払消費税等の増減額(△は減少)	68,359	74,977
その他	△85,533	△337,702
小計	296,958	△320,043
利息及び配当金の受取額	81,583	53,312
利息の支払額	△2,211	△1,074
法人税等の支払額	△65,434	△45,686
法人税等の還付額	13,134	26,596
営業活動によるキャッシュ・フロー	324,030	△286,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	98,890	△39,864
有形固定資産の取得による支出	△266,846	△441,018
有形固定資産の売却による収入	196,200	767
無形固定資産の取得による支出	△15,374	△5,870
投資有価証券の取得による支出	△767	△725
貸付金の回収による収入	40,408	849
保険積立金の解約による収入	11,092	43,796
その他	26,364	△8,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	89,967	△450,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△3,467	△5,081
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△30,867	△21,568
自己株式の取得による支出	△553	△737
自己株式の売却による収入	9	12
配当金の支払額	△245,099	△246,411
非支配株主への配当金の支払額	△45,448	△31,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,427	△304,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53,234	△65,814
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35,336	△1,107,665
現金及び現金同等物の期首残高	7,957,424	7,888,063
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	32,679	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,025,440	6,780,397

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	6,227,386	283,976	6,511,363	—	6,511,363
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,160	170,648	173,808	△173,808	—
計	6,230,547	454,624	6,685,171	△173,808	6,511,363
セグメント利益	443,187	20,145	463,332	10,059	473,391

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,135,813	2,975,448	116,124	6,227,386	—	6,227,386
地域間の内部売上高 又は振替高	2,288,571	1,797,839	—	4,086,410	△4,083,249	3,160
計	5,424,384	4,773,287	116,124	10,313,796	△4,083,249	6,230,547
地域別利益	256,694	209,797	1,227	467,718	△24,531	443,187

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	4,888,175	234,931	5,123,107	—	5,123,107
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,270	177,653	179,923	△179,923	—
計	4,890,445	412,584	5,303,030	△179,923	5,123,107
セグメント損失(△)	△5,755	△1,955	△7,710	12,839	5,129

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	2,778,612	2,025,750	83,811	4,888,175	—	4,888,175
地域間の内部売上高 又は振替高	1,823,248	1,406,682	—	3,229,931	△3,227,660	2,270
計	4,601,861	3,432,433	83,811	8,118,106	△3,227,660	4,890,445
地域別損失(△)	△3,862	△2,013	△4,113	△9,989	4,234	△5,755

2. セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

製品別販売実績

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	2,127,478	32.7	1,396,238	27.2	65.6
可変抵抗器 (千円)	1,068,672	16.4	879,367	17.2	82.3
固定抵抗器 (千円)	1,007,345	15.4	797,137	15.6	79.1
その他 (千円)	2,023,890	31.1	1,815,431	35.4	89.7
小計 (千円)	6,227,386	95.6	4,888,175	95.4	78.5
その他					
その他 (千円)	283,976	4.4	234,931	4.6	82.7
小計 (千円)	283,976	4.4	234,931	4.6	82.7
合計 (千円)	6,511,363	100.0	5,123,107	100.0	78.7